

---

第6次忍野村総合計画進捗管理 専門部会  
～みせる富士部会 提言書～

---

平成29年11月

第6次忍野村総合計画 専門部会「みせる富士部会」



# 目次

はじめに ～「みせる富士部会」取りまとめにあたって～	1
第一部 短期的な事業展開（平成 32 年度目途）について	2
I 概要	3
II ビューポイントと遊歩道ネットワークの整備	4
1 忍野八海～桂川周辺の一体的整備	4
2 富士山の雄大な眺めを望むビューポイントの整備	6
A 二十曲峠	6
B 杓子山南麓森林公園	7
3 自然を楽しむ登山客が楽しめるビューポイントの整備 高座山（かやの）	7
4 日常空間で富士山を愛でるビューポイントの整備	9
A 赤道の復活・出口池周辺	9
B 銚子池～底抜池	9
III ビューポイントの活用と観光産業の振興	11
A 今後求められる機能・サービス	11
B 顧客イメージ	11
C 観光集客に向けて求められるスキル	12
D 村の役割	12
E 事業主体のイメージ	13
第二部 長期的な整備構想について	14
I 長期的整備構想の全体像	15
II 長期的構想の概要	16
1 基本的考え方	16
2 長期的な地域整備の取り組み	17
A 拠点施設の整備	17
B 歩道と登山道の整備	18
C 長期的な夢の実現	19
付 属 資 料	20
「みせる富士部会」の経緯と構成	21
1 「みせる富士部会」議論の経緯	21
A スケジュール	21
B 開催時間・場所	21
2 「みせる富士部会」の委員と事務局	21
A 委員名簿(順不同、敬称略)	21
B 事務局	21

## はじめに ～「みせる富士部会」取りまとめにあたって～

---

本部会は、第6次忍野村総合計画で掲げた施策を着実に推進するため、今年度複数の専門部会を立ち上げ、各分野に精通した村民の代表を集めて検討を行いました。

この「みせる富士部会」は、忍野村の各所から眺める富士山の眺望は周辺市町村からの眺めと比較しても勝るとも劣らないものであり、今後村の観光業を活発にして、多くの来訪者に楽しんでもらうためには、この眺望を活かすことが必要不可欠であるという認識からスタートしました。

「みせる富士部会」は合計6回にわたる議論を経て、今後の取り組みを「短期的な事業展開」と「長期的な整備構想」の両面から、今後に向けた提言を取りまとめています。

「短期的な事業展開」については、現時点で実施が見込める事業と、この観光集客の活発化に向けて取り組むべき課題を取りまとめ、特に事業展開については村事務局の確認を踏まえて実現可能性の高いものを整理しています。

また、「長期的な整備構想」については、直ちに着手する可能性は低いものの、富士山の眺望を活かした観光集客に向けて長期的視点から必要不可欠であり、ぜひ取り組んでいきたい事業を、本部会からの提言としてまとめています。

今後は、村が中心となり、国県との連携を図りながら着実に各種事業を実施するとともに、この提言を踏まえた村民及び村内事業者が、富士山の眺望を活かした観光集客の活発化に向けて、村と手を取り合っ

平成29年11月1日  
第6次忍野村総合計画専門部会  
「みせる富士部会」部会長 三浦 政興士

---

## 第一部 短期的な事業展開（平成 32 年度目途）について

---

## I 概要

---

ここでは、平成 32 年度を目途に実施する事業として、「ビューポイントと遊歩道ネットワークの整備」の内容を列挙するとともに、この活用策と観光産業の振興についての課題や方向性を記載しています。

「ビューポイントと遊歩道ネットワークの整備」は、周辺市町村と比較して勝るとも劣らない富士山の眺望を楽しめる場所をビューポイントとして発掘するとともに、ビューポイントへのアクセスを向上させるための道路等インフラ整備について具体的な事業を提案しています。

また、「ビューポイントの活用と観光産業の振興」として、ここで掲げたビューポイント及びインフラを活用した、交流拠点の整備や集客に向けた方策の進め方などを記載しています。

ここに記載した内容は、具体的な事業の実施に向けて村と国県が協力していくとともに、観光産業の振興については、村との協調の下で、村民や地元企業・団体をはじめとする民間の組織が事業主体となり、その実現を図る必要があります。

## Ⅱ ビューポイントと遊歩道ネットワークの整備

---

忍野村が誇る富士山の眺望を楽しむことができるビューポイントを掲げるとともに、ビューポイント自体の整備を進め、あわせて遊歩道等を整備することにより、既存の集客ポイントや村内各所を結ぶネットワークを形成します。

具体的な事業として、以下の4つを掲げます。

- 1 忍野八海～桂川周辺の一体的整備
- 2 富士山の雄大な眺めを望むビューポイントの整備
  - A 二十曲峠
  - B 杓子山南麓森林公園
- 3 自然を楽しむ登山客が楽しめるビューポイントの整備 高座山(かやの)
- 4 日常空間で富士山を愛でるビューポイントの整備

### 1 忍野八海～桂川周辺の一体的整備

村内で最も多くの観光来訪者を集める忍野八海から、桂川沿いの遊歩道を整備し、富士山を望むことができる「四季の杜おしの公園」周辺に至るまでの徒歩周遊ルートを整備します。

#### (1) ビューポイント・整備ポイント

- ・桂川周辺
- ・「四季の杜おしの公園」周辺

#### (2) 主な整備内容

- ・忍野八海から桂川沿いに、管理用道路等を活用した遊歩道を整備し、忍野八海の来訪者が徒歩で気軽に村内の水と緑の豊かさに触れる機会を提供するよう努めます。
- ・桂川沿いの遊歩道を「四季の杜おしの公園」まで延長し、忍野八海から桂川を経て「四季の杜おしの公園」に至る周遊ルートの形成を図ります。この周遊ルートを活用することで、忍野八海への来訪者を富士山のビューポイントに誘導することを目指します。

#### (3) 主たる利用者層

- ・忍野八海の来訪者が、来訪の延長線上で遊歩道を利用することを想定した整備を行います。
- ・来訪者は団体客を含め、多くの人が利用することを想定します。



忍野八海と富士山



四季の杜おしの公園から望む富士山



河川沿いの歩道

## 2 富士山の雄大な眺めを望むビューポイントの整備

忍野村から富士山の雄大な眺めを望むビューポイントは多数ありますが、その中でも特に眺望に優れた二十曲峠とその周辺の整備を進め、多くの来訪者に素晴らしい眺めを提供することを目指します。

これとともに、杓子山の南麓に森林公園を整備し、南麓からの眺望を楽しめる拠点を形成します。

### A 二十曲峠

#### (1) ビューポイント・整備ポイント

- ・二十曲峠展望スペース及びその周辺

#### (2) 主な整備内容

- ・展望スペースにおける駐車場を拡幅し、これまで以上に多くの来訪者が訪れることができる場所とすることを目指します。
- ・展望スペースに交流集客施設の立地空間を確保するなど、飲食施設等の立地誘導に向けた検討を行います。
- ・峠に至る道路アクセスポイントやその周辺道路に案内板を整備し、村外から二十曲峠までのスムーズなアクセス条件を整えます。

#### (3) 主たる利用者層

- ・富士山の眺望を楽しむドライバーを想定します。
- ・主に個人・ファミリー層が自家用車で来訪することを想定します。



二十曲峠から望む富士山

## B 杓子山南麓森林公園

### (1) ビューポイント・整備ポイント

- ・杓子山南麓森林公園

### (2) 主な整備内容

- ・杓子山の南麓に森林公園(4ha)を整備するとともに、森林公園に至る架橋や取り付け道路の整備を行います。
- ・森林公園入口には、大型バスも駐車できる駐車場や、トイレなどの設備を整備します。
- ・取り付け道路に至る道路アクセスやその周辺道路に案内板を整備し、村外から杓子山南麓公園までのスムーズなアクセス条件を整えます。

### (3) 主たる利用者層

- ・富士山の眺望を楽しむドライバー及び団体客を想定します。
- ・主に個人・ファミリー層が自家用車で来訪するとともに、大型バスが来訪することを想定します。
- ・外国語による案内板整備などに取り組み、外国人観光客の来訪にも対応します。
- ・イベント、散歩、憩いの場として村民の利用を想定します。

## 3 自然を楽しむ登山客が楽しめるビューポイントの整備 高座山（かやの）

忍野村は富士山を望む方向に山々が連なっており、この尾根道の各所から富士山の素晴らしい展望を楽しむことができます。現在はこの道を歩くことは容易ではありませんが、これを登山道としてより一層整備することで、登山やトレッキングを楽しみながら富士山の眺望を楽しめる機会を提供し、首都圏などの登山客のニーズに応えます。

### (1) ビューポイント・整備ポイント

- ・高座山（かやの）

### (2) 主な整備内容

- ・拡幅等による登山道の整備を進めるとともに、草木の除去、チップ材の敷き詰め、急峻な登山路の改善など、難度を抑えた登山ルートとしての確立を目指します。
- ・登山道及びその周辺における案内板を整備し、アクセスがしやすく安全なルートとすることを目指します。

### (3) 主たる利用者層

- ・個人やグループの登山客を想定します。



高座山山腹（かやの）からの富士山

#### 4 日常空間で富士山を愛でるビューポイントの整備

忍野村は山の上や高台など、何物にも遮られない場所から富士山の眺めを楽しめる地点が多くありますが、こうした高台などに上らなくても、日常の生活空間から富士山を愛でることができるポイントが多数あります。

これらの場所には、公園や駐車場などが整備されている場所は少ないのですが、赤道やサイクリング道路など、現在活用されていない資源も多数あります。今後これらを整備し活用することにより、高台に限らない多様なビューポイントの提供を図るとともに、気軽に参加できるウォーキング等の健康づくりの取り組みを進め、富士山を愛でながら楽しく健康増進を図る取り組みを活発に行っていきます。

##### A 赤道の復活・出口池周辺

###### (1) ビューポイント・整備ポイント

- ・忍草、内野地区における赤道
- ・出口池周辺

###### (2) 主な整備内容

- ・赤道の活用可能性調査を行い、歩道ネットワーク構築計画を策定することで、今後活用可能な赤道を定めます。
- ・出口池周辺等において、赤道を活用した歩道整備を行い、主要道路から池や河川など水辺へのアクセスを可能にします。
- ・サイクリング道路の整備を促進し、遊休資源の有効活用による歩道と一体的にネットワークの形成を図ります。

###### (3) 主たる利用者層

- ・村民及び近隣市町村の住民を想定します。
- ・村民とともに健康づくりに取り組む人たちを想定します。

##### B 銚子池～底抜池

###### (1) ビューポイント・整備ポイント

- ・銚子池～底抜池

###### (2) 主な整備内容

- ・銚子池から底抜池に至る散策道を整備し、水辺を楽しく歩きながら富士山を愛でることができる機会を提供するよう、検討を進めます。

###### (3) 主たる利用者層

- ・村民及び近隣市町村の住民を想定します。
- ・村民とともに健康づくりに取り組む人たちを想定します。



底抜池



湧水めぐりと富士山



村内に広がる赤道

### Ⅲ ビューポイントの活用と観光産業の振興

---

ビューポイントや遊歩道等のネットワークを整備するとともに、村と村民、事業者が協力してこの貴重な資源を活用し、観光業の活性化につなげていく必要があります。

現在、村には周辺市町村と比較して宿泊施設や飲食施設が少なく、観光業を生業とする村民も少ない状況です。しかし村が誇れる富士山のビューポイントや遊歩道のネットワークを活用するためには、これらの施設が立地し経営的に成立する状況を作り、「稼ぐ観光」を確立していく必要があります。

ビューポイントを活用した「稼ぐ観光」の実現に向けて、以下の課題を検討し、方向性を明らかにするとともに、村と村民が一体となって実現に向けた努力をする必要があります。

#### A 今後求められる機能・サービス

##### ○飲食施設及び宿泊施設

飲食施設は、地元の産物を使い、かつ質感の高い（価格も相応の）食事や果物、山梨ワインを提供するなど、高品質で高単価の施設の立地が望ましいと考えられます。

宿泊施設は、飲食施設と同様の顧客イメージに合致した、高級感のある施設の立地を目指す必要があります。

なお、こうした質感の高い施設機能の立地が直ちに困難な場合は、村内の既存の建物を活用した民泊の普及促進を図るなど、村民や村内事業者が早期に観光収入を得ることができる仕組みを模索する必要があります。

##### ○ビューポイント等の観光ガイド

外国語によるガイドを含み、日本人に限らずより多くの人を村に呼び集めることが望ましいと考えられます。

#### B 顧客イメージ

##### ○首都圏等からのシニア層

##### ○外国人観光客の中で、個人・富裕層

現在、国内の多くの観光地は、海外からの観光客の増加でにぎわっていますが、その一方で団体客の増加によるごみやマナーの問題などで苦しんでいるところも見られるようになってきました。また、政府は外国人観光客の数をこれまで以上に増やすことを目標としていますが、識者の中には単に人数を増やしても産業の振興にはならず、むしろ観光による収益を目標とすべきであり、少ない客数で大きな稼ぎを生む富裕層をターゲットとすべきだという意見もあります。

世界遺産の富士山という、他にない自然の恵みを資源とした観光振興を図るためには、上記の意向を参考に、消費単価の高い顧客層を今後村としてターゲットとし、団体の低価格ツアーに依存することなく、質の高い飲食とガイドに相応しい対価を支払う顧客を獲得することが望ましいと考えられます。

消費単価が高い顧客層を獲得することは容易なことではありませんが、これを実現することにより、少ない客数でも観光業として成立し、「稼ぐ観光」の実現可能性が高まります。なお、こうした消費単価が高い顧客層は、高度な施設機能に魅力を感じて来訪する場合がありますが、むしろその地

域らしさに触れる機会を求め、地域ならではの食や自然に触れることを求める顧客も存在すると考えられます。このため、後述する外国語や接客マナーの充実を図りながら、民泊等村内の既存の建物を活用した宿泊の機会提供にも、顧客獲得の機会があると考えられます。

また、忍野村の周辺市町村は観光業が活発なところが多く、多くの来訪者を集めていますが、海外を含めた富裕層向けを顧客層としている施設は少なく、周辺市町村との差別化を図る上でも、消費単価の高い層をターゲットとした展開が望ましいと考えられます。

## C 観光集客に向けて求められるスキル

### ○継続的な情報発信力

ホームページやブログなどを活用し、気候や眺望の変化など継続的な情報発信を行う必要があります。これらの情報発信は、日本語の他英語、中国語（北京語、広東語）などで行い、外国人観光客にも発信していく必要があります。

### ○外国語による案内、接客マナー

外国語による案内については、看板等への英語・中国語の標記の他、通訳案内士の資格取得など、外国語によるガイド実施が望ましいと考えられます。

接客マナーについては、富裕層が求める顧客との適度な距離感を実現するため、接客の専門家からマナーを伝授する機会を設けるなどの取り組みを実施する必要があります。

## D 村の役割

### ○これまでにない施設の立地に向けて

顧客イメージに合致した飲食施設及び宿泊施設の立地に向けて、村は民間事業者が参入し事業展開しやすいスキームを検討し、公設民営や PFI、土地の安価な貸与など公共用地等を活用して初期投資を抑制できる事業概要を作成します。

この事業概要について、村は観光事業者などへの意見招請を求め、より実現性の高い事業へと修正を行います。これを踏まえて、村は事業者を公募し、民間事業者のノウハウを活かした事業展開を目指します。

また民泊の普及促進に関しては、村は県と協力して宿泊施設としての認定や防災対応の強化支援、宿泊施設の情報発信支援、モデルツアー案の組成などを行い、民泊施設の集客をサポートします。

### ○観光集客のスキル向上に向けて

外国語の習得については、語学講座の開設や外国人向け集客施設への研修派遣、通訳案内士の資格取得支援など、村が人材育成の助成を行うことが考えられます。

また接客マナーについては、接客の専門家が行う研修やビジネススクールへの参加の支援、時期を限定した講師の招聘などを行い、顧客ターゲットに相応しい本物の接客マナーを習得する機会を提供します。

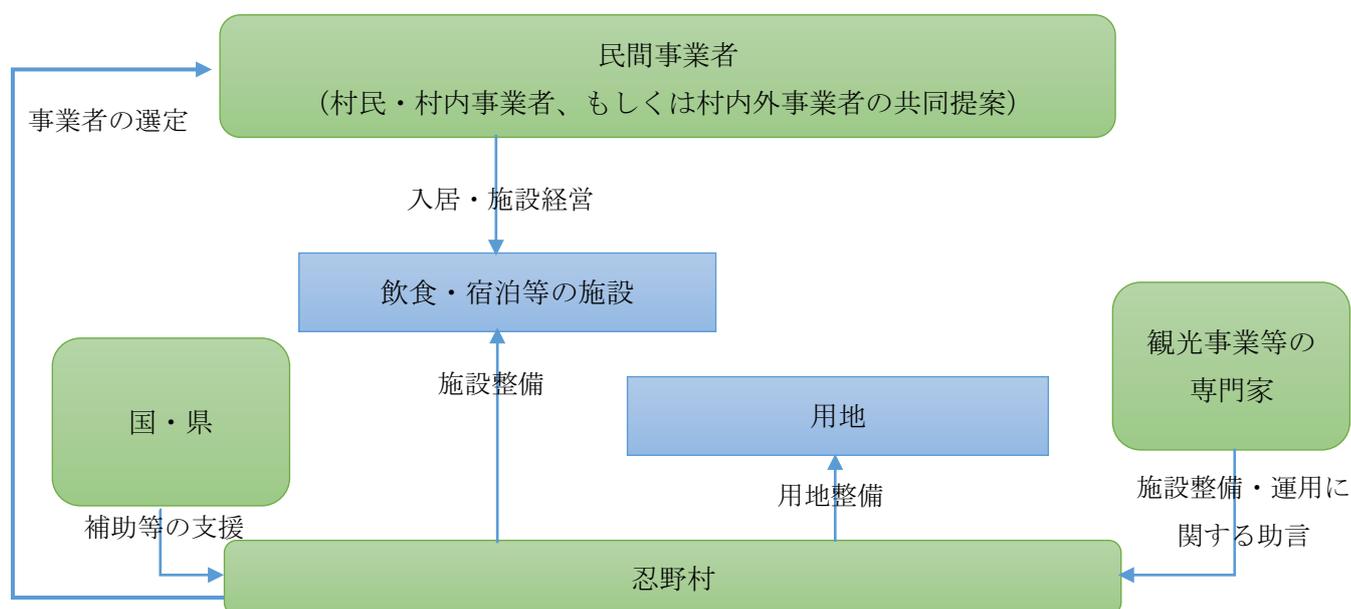
これらのスキルを活用した観光集客の実現に向けて、観光専門の事業者や実績のある専門家をアドバイザーとすることも検討します。

## E 事業主体のイメージ

現時点で、村内には上記の実現に向けた明確な事業主体は存在しません。一方、村への経済効果の発揮や長期的な信頼関係の確立のためには、村民や既存村内事業者が主導権を持つことが望ましいと考えられます。このため、村としては村民や村内事業者の育成を最優先に、以下の取り組みを行うことが考えられます。

- ・施設立地の公募に際しては、地元の事情を熟知し、観光事業に熱心に取り組む事業者を選定するため、村民や村内事業者が主体となった事業体を優先して選定することを目指します。
- ・地元を優先して選定するために、事前に事業概要を明らかにして村内で検討可能とするとともに、スキル向上策を実施し、これに熱心に参加する村民や村内事業者を確保します。
- ・村民や村内事業者ではノウハウが不足する事業については、公募に際して村内事業者と村外事業者の共同提案を歓迎します。
- ・村内事業者と村外事業者の共同提案でも成立しえない事業については、最後の選択肢として、村外事業者主導による事業実施を認めることとします。

### 事業主体と村の役割



※施設の種類や規模によっては、村が施設整備をするのではなく、RFI や土地貸与など民間事業者が施設を整備する仕組みも検討します。

---

## 第二部 長期的な整備構想について

---

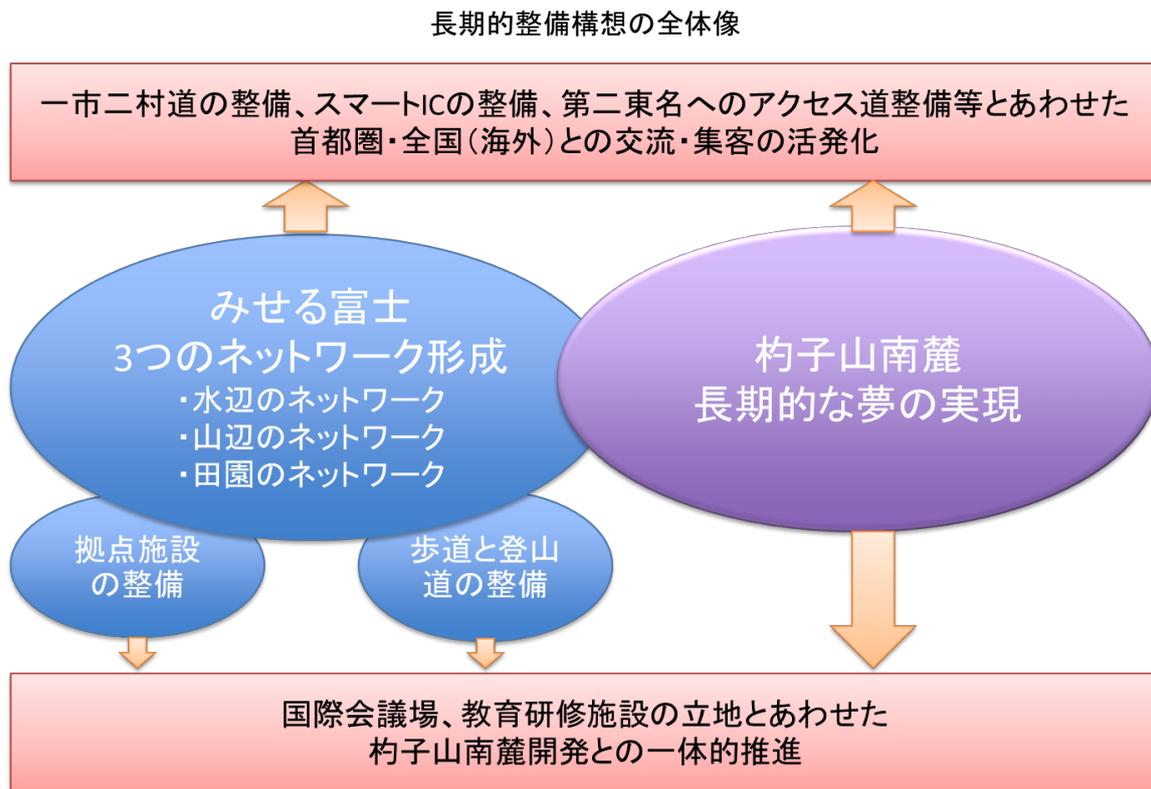
## I 長期的整備構想の全体像

「みせる富士」の長期的構想は、以下の通り提案します。

忍野村は今後、一市二村道の整備や東富士五湖道路のスマートインターの整備、第二東名道の延伸とこのインターへのアクセス道路整備によって、首都圏へのアクセスひいては全国、海外へのアクセスが大きく向上することが期待されます。この恵まれた条件を活用して、「みせる富士」など観光集客の手段を充実させることができれば、村の観光業は飛躍的な発展を遂げることができるはずです。ここでは、みせる富士の舞台として3つのネットワークの形成を提案しております。

こうした飛躍的な発展の起爆剤として、村ではかねてより杓子山南麓の開発が大きな課題となっております。「忍野村地方創生総合戦略」や「第6次忍野村総合計画」に示したように、杓子山南麓に国際会議場等の大型コンベンション施設が立地することで、忍野村における内外の交流拠点として確立することが期待されます。

「みせる富士部会」としては、こうした内外の環境の変化に対応しながら、富士山の眺望という素晴らしい資源を活かした長期的な地域整備の取り組みを提案します。



なお、この長期的構想は、村の事業として位置付けられたものではありませんが、今後村を中心として国県と連携しながら、息の長い取り組みとして、実現に向けた歩みを着実に進めることを祈念して提言するものです。

## II 長期的構想の概要

---

長期的構想の提言内容は以下の通りです。

### 1 基本的考え方

長期的な整備構想は、「みせる富士 3つのネットワーク形成」と「杓子山南麓開発との一体的推進」によって構成されます。

「みせる富士 3つのネットワーク形成」は、短期的な事業展開で示した遊歩道等のネットワークをさらに発展させ、「水辺のネットワーク」「山辺のネットワーク」「田園のネットワーク」の3つのネットワークを整備し、その中に拠点施設を整備するものです。これらの具体的な取り組みは、後述「2 長期的な地域整備の取り組み」の「A 拠点施設の整備」「B 歩道と登山道の整備」において明らかにしています。

#### みせる富士 3つのネットワーク形成

- ・水辺のネットワーク 《忍野八海～桂川～新名庄川》
- ・山辺のネットワーク 《忍野入口～忍草の裏山～高座山（かやの）～二十曲峠》
- ・田園のネットワーク 《赤道整備、忍野中学校周辺、内野地区》

また、「杓子山南麓開発との一体的推進」については、短期的な事業展開で示した杓子山南麓の森林公園にとどまらずこの地を大きく開発することにより、忍野村の観光集客が大きく発展することが期待されており、その一環として富士山の眺望を活かした取り組みを提案しています。この具体的な取り組みは、後述「2 長期的な地域整備の取り組み」の「C 長期的な夢の実現」において明らかにしています。

## 2 長期的な地域整備の取り組み

### A 拠点施設の整備

「みせる富士」を活かした観光集客の拠点として、以下の施設の整備を提案します。

○鳥居地トンネル付近に水害対策用貯水池を整備するアイデアがあり、これとあわせて貯水池を活かした集客・物販施設と駐車場を備えた「水の駅（仮称）」を整備します。この施設では、忍野村の農産物や加工品などを販売し、地元の食が楽しめる飲食施設が立地し、あわせてここを拠点に村内各地を訪れることができるよう、ビューポイントや観光スポットに関する地図や案内等の情報提供を行い、特に外国語による案内を充実させます。

○忍野入口付近に公園を整備し、国道から村内にアクセスする車が休憩し、村のビューポイントなどの情報を得られる機能を備えます。

○忍野中学校周辺、内野地区にも新たに公園を整備し、村民や来訪者が休息しながら富士山を愛でることができる場を作ります。

○大臼小臼の噴火口跡を活用した集客や、さかな公園を活かした交流の取り組みを検討し、地域の資源に多くの来訪者が触れられる機会を作ります。



「水の駅（仮称）」施設のイメージ



茅葺屋根と富士山のイメージ

## B 歩道と登山道の整備

「みせる富士 3つのネットワーク形成」の実現に向けて、短期的な事業展開で示した遊歩道等のネットワークに加えて、以下の整備を提案します。

○短期的な事業展開に位置付けた、忍野八海から桂川に至る水辺の遊歩道をさらに拡大し、新名庄川沿いに至る「水辺のネットワーク」を確立します。その中で、お宮橋周辺の歩道整備を目指します。

○短期的な事業展開に位置付けた、高座山（かやの）登山道整備をさらに延伸し、「忍野入口～忍草の裏山～高座山（かやの）」の登山道を整備し、忍野入口から二十曲峠さらには石割山、大平山に至る「山辺のネットワーク」を確立します。

○「山辺のネットワーク」とあわせて、二十曲峠に至る第二の道路を整備し、バスなど大型車両が通行し行き違いが可能な幅を持つ車道を確保します。

○短期的な事業展開に位置付けた、出口池周辺等における赤道の活用をさらに拡大し、村内の田園地帯と居住地域における遊歩道網の整備を進め、「田園のネットワーク」を確立します。



登山道整備のイメージ



遊歩道整備のイメージ

## C 長期的な夢の実現

杓子山南麓開発の一環として、「みせる富士」による観光集客のさらなる拡大を実現するため、以下の取り組みを提案します。

○杓子山南麓森林公園を拡大して南麓全体の開発を行い、その一環として富士山の眺望を活かした施設等の整備を提案します。

- ・杓子山山頂に至る斜面に千段の階段を整備し、南麓のシンボルとしてアピールするほか、登山が困難な方でも高座山（かやの）、杓子山等にアクセスできるよう、ロープウェイを整備します。
- ・南麓全体（高座山（かやの）を中心に）に桜など植樹を行い、季節の花を楽しみながら富士山の眺望を望める場所としてアピールします。

○杓子山南麓に、国際会議場や教育研修施設の立地を誘導するとともに、この施設と連携した宿泊施設など大規模交流拠点の立地を目指します。この宿泊施設は、眺望を楽しむテラスやカフェなどを併設し、富士山の眺望を楽しめる場所として、村のランドマーク的な施設とすることを目指します。



千段の階段のイメージ



ロープウェイのイメージ

---

付 属 資 料

---

## 「みせる富士部会」の経緯と構成

### 1 「みせる富士部会」議論の経緯

#### A スケジュール

第1回：5月24日（水）	趣旨説明、意見交換
第2回：6月27日（火）	今後想定される事業について、ビューポイントの現状について
第3回：7月25日（火）	村内のビューポイントについて
第4回：8月29日（火）	部会の取りまとめ資料について（提言書骨子）
第5回：9月26日（火）	提言書について
	【10月18日（水） 部会委員による村内ビューポイントの視察】
第6回：10月31日（火）	提言書の取りまとめ

#### B 開催時間・場所

各回とも18:00より、忍野村役場2階会議室にて開催。

### 2 「みせる富士部会」の委員と事務局

#### A 委員名簿(順不同、敬称略)

区分	氏名	備考
一般住民	長田 五月	一般公募
	岸 信一郎	〃
	櫻井 由美子	〃
	鷹野 慈誠	〃
	日西 修	〃
	渡邊 正隆	〃
審議会委員	大森 周太	総合計画審議会
	大森 長秀	〃
	三浦 政與士	〃
	渡邊 勝敏	〃
	渡邊 良子	〃
その他	櫻井 貢	内野区長
	渡邊 晴行	忍草区長
	黒澤 照予	観光協会
	内藤祐一郎(第1～5回) 志村光也(第6回)	山梨中央銀行忍野支店長

#### B 事務局

忍野村役場 観光産業課、企画課

---

第6次忍野村総合計画進捗管理 専門部会  
～みせる富士部会 提言書～

---

平成29年11月1日

編集：第6次忍野村総合計画専門部会「みせる富士部会」

編集協力：忍野村役場

作成支援：株式会社 エーティーエルシステムズ